

**第13回アジア欧州会合（ASEM）首脳会合
議長声明「共通の成長のための多国間主義の強化」（骨子）**

- 第13回アジア欧州会合（ASEM13）は、2021年11月25日から26日までビデオ会議形式により開催。同会合はカンボジア王国が主催し、フン・セン同国首相が議長。（パラ1）
- 首脳は、「共通の成長のための多国間主義の強化」というテーマの下で、特に新型コロナウイルス感染症パンデミックというグローバルかつ地域的な課題に対応可能な多国間主義を更に推進するため、アジアと欧州間のパートナーシップの重要性を再確認。（パラ2）
- 首脳は、グローバルかつ地域的な課題に取り組むため、国際法のルールと原則に基づく国際秩序を擁護する切迫した必要性を強調。（パラ5）
- 首脳は、持続可能な連結性は、地域的な経済統合の重要な基礎であり、世界の相互に連結した開発のために不可欠な枠組であることを認識。首脳は、情報交換の円滑化と、ASEM全体での連結性に関する事業の将来の計画を改善する文書である「ASEM連結性の今後の道筋」を採択。（パラ7）
- 首脳は、ASEAN共同体ビジョン2025の実現を通じたものを含む、地域的アーキテクチャーの発展において、ASEAN主導のメカニズムとその中心的な役割への強い支持を表明。ASEAN中心の地域的アーキテクチャーを強化するASEANによるイニシアティブに留意。（パラ8）
- 首脳は、国際の平和と安全に対する脅威である大量破壊兵器とその運搬手段の拡散の危険性に対して懸念を表明。第10回核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議の意義ある成果を確保するために協力を強化することの重要性を強調。（パラ12）
- 首脳は、全ての当事者に国連安保理決議の完全な履行を要求。首脳は、核及びその他の大量破壊兵器並びに弾道ミサイル計画の、完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄に関する国連安保理決議の要求を強調。首脳はまた、複数のASEM参加国が表明した、拉致問題の即時解決を含む国際社会の人道上の懸念に対処することの重要性に関する見解に留意。（パラ18）
- 首脳は、ミャンマーにおける状況に対して深い懸念を表明するとともに、危機の緊張

緩和に向けたASEANの取組への強い支持を確認。首脳は、「5つのコンセンサス」の時宜を得た、完全な履行を呼びかけ、2021年4月のASEANリーダーズ・ミーティングでの成果を歓迎。首脳は、平和的対話、国内における暴力の即時停止、最大の自制、外国人を含む恣意的に拘束された全ての者の早期解放、民主制への移行等を要求。(パラ20)

- 首脳は、国連海洋法条約（UNCLOS）を始めとする国際法を完全に遵守しつつ、航行及び上空飛行の自由並びに妨げられない経済活動を堅持するため、海洋安全保障を確保するコミットメントを再確認。首脳は、懸念を表明し、不安定化させ緊張を高める行動をとらないよう促した。(パラ22)
- 首脳は、アフガニスタン情勢について議論。首脳は、厳しい人道危機に対処するためには国際社会が決定的な役割を有することに留意し、また、人権の尊重に基づいた、包摂的で完全に代表的な政府の重要性を強調。首脳は、出国希望者の継続的で安全な移動の必要性を強調。首脳は、タリバーンに対し、テロと闘うコミットメントを果たすことを要求。(パラ23)
- 首脳は、気候変動、異常気象、生物多様性の損失と汚染に関連する増大する地球規模課題に取り組む意思を表明。首脳は、生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）第一部及び国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）の成果を歓迎。首脳は、世界全体の平均気温の上昇を、工業化以前よりも摂氏2度高い水準を十分に下回るものに抑えること、及び摂氏1.5度高い水準までに制限する努力を継続するというパリ協定の気温目標を再確認。ASEM参加国は、COP26の成果に従って、各国の異なる事情を考慮しつつ、2022年末までに、パリ協定の気温目標に整合するよう、必要に応じて国が決定する貢献（NDC）における2030年目標を再検討し、強化する決意を表明。(パラ30)
- 首脳は、開かれたグローバル経済を維持することの重大な必要性を強調。WTOを中核に据えたルールに基づく多角的貿易体制を強化し、擁護するコミットメントを再確認。(パラ34)
- 首脳は、ASEM参加国によって合意された国際スタンダードに従った質の高いインフラ投資を通じ、経済的強靱性を高める必要性を強調。(パラ40)
- 首脳は、2023年に欧州で開催される予定の第14回アジア欧州会合に期待。(パラ52)